

本協会が対応すべき重要施策について

社会課題の解決への取組み

・動き始めた"貯蓄から投資へ"の流れを、

2024年7月1日

さらに大きく継続的なものにするために ~

① 国民の資産形成支援の強化

- NISA制度の更なる普及に向けた取組み
- 国民の金融リテラシー向上に向けた金融経済教育推進機構(J-FLEC)との連携
- 確定拠出年金制度(企業型DC、iDeCo)の改革に向けた取組み

② SDGsの達成に向けた取組み

- トランジションファイナンスを含むサステナブルファイナンスの 推進と市場の拡大に向けた取組み
- 働きがいのある職場環境の整備、こどもの貧困対策、ダイバーシ ティの一層の推進
- 国内外のステークホルダーとの連携強化

③ スタートアップ育成の支援

- 特定投資家向け銘柄制度 (J-Ships) の市場の拡大に向けた取組み
- スタートアップへのリスクマネー供給促進 のための環境整備

協会組織の活性化 に向けた取組み

会長自らの証券会社訪問による 現場での意見交換会の実施

⑤ 高齢社会に対応した 金融サービスの実現に向けて

- 家族サポート証券口座の検討の推進
- 世代間の円滑な資産承継に向けた取組み
- ■「高齢顧客ブック」の拡充

⑦ 証券会社のミドル・バックオフィス業務 の効率化に向けた取組み

■ 証券会社のミドル・バックオフィス業務(1:サイバーセキュリティ、2:相続、3:外国株式コーポレートアクション、4:口座開設、5:売買審査、6:株式公開買付等に係る業務)の効率化を目指す検討の推進

④ デジタルトランスフォーメーション (DX)の促進

- 顧客交付書面のデジタル原則化に向けた取組み
- 証券市場における金融イノベーションの活用への 適切な対応
- サイバーセキュリティ対策水準の向上支援
- マイナンバー制度の利活用範囲拡大の検討

⑥ 業界全体のレベルアップに向けた取組み

- 前期設置したコンプライアンス相談窓口の運営など、協会員におけるコンプライアンスのレベルアップに向けた支援体制の強化
- コンプライアンス上の規制についてのスクラップアンドビルドに向けた取組み
- 研修体制の更なる強化による、人材のレベル アップに向けた取組み

投資者からの信頼のより一層の向上と証券市場の機能強化に向けて